

2024 年 11 月 15 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

株式会社トーヨーアサノと「グリーンローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}、以下「当行」）は、株式会社トーヨーアサノ（代表取締役社長 植松 泰右^{うねまつ たいすけ}、以下「同社」）との間で、新本社ビル建設を資金使途とした「グリーンローン」によるタームローン契約（以下「本ローン」）を締結いたしました。

本資金使途における設備資金は、株式会社日本格付研究所（JCR）より、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされ、グリーンローン原則が定める資金使途・プロジェクトの評価と選定プロセス・調達資金の管理・レポーティング・発行体の環境活動の第三者評価も取得し、最上位の「Green1（F）」の評価を受けています。

同社は、1997 年 3 月にコンクリートパイルの製造・販売を目的とする株式会社東洋パイルヒューム管製作所と東扇アサノポール株式会社が合併し、現在の社名に商号変更されました。同社はコンクリート二次製品の製造・販売及び工事請負（基礎事業）を主たる業務としており、コンクリートパイルの製造から基礎に係る設計支援、施工に至るまでを総合技術として提供できることを強みとし、さまざまな建造物の基礎構築プランに対応しニーズにあった高品質の杭と的確な工法を提案することを可能としています。

新本社ビルは、BELS 評価における最高評価の 6 つ星（いわゆるフル ZEB）を取得しており、高い環境改善効果を有すると評価されています。本グリーンプロジェクトは、同社が事業活動を通じて環境負荷の低減を目指す姿勢を象徴するものと位置付けられており、同社の持続的な成長に係る方針に即したものとなっています。同社の主要製品であるコンクリートパイルは建物の基礎を支える重要部材であるものの、顧客の目に触れる機会は少なく、そのため、新本社ビルは、同社の環境に対する取り組みの象徴とすることを企図しています。

<本ローンの概要>

契約締結日	2024 年 11 月 15 日
組成金額	2.5 億円
資金使途	設備資金
貸出人	株式会社三菱 UFJ 銀行

<本プロジェクト概要>

適格プロジェクト	グリーンローン原則上の分類
新本社ビルプロジェクト	グリーンビルディング（環境配慮型ビル）



株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上